

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 高木 明		
歴史-03	実施事業	日本遺産事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用するため。
効果	鎌倉の魅力を国内外に発信することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産いざ鎌倉協議会事務局として、協議会の事業遂行を円滑に進めた。 ・日本遺産いざ鎌倉協議会において、鎌倉の日本遺産のストーリーを紹介するコンテンツを視聴できる情報紹介コーナーを鶴岡八幡宮境内休憩所に設置した。 ・日本遺産いざ鎌倉協議会において、外国人向けツアー等の造成を目的としたモニターツアーを実施した。 ・日本遺産サミットに参加し、鎌倉の歴史・文化の魅力について情報発信を行った。 ・市民への普及啓発のために、平成28年度に作成したブックレットの配付やツイッターによる情報発信を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等の	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	201	678	当初予算(千円)	2,216		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	201	678	一般財源	2,216		
	人員配置数	0.8	1.5	人員配置数	1.5		
事業経費運営	人件費(千円)	6,322	11,440	人件費(千円)	11,782		
	総事業費(千円)	6,523	12,118	総事業費(千円)	13,998		
	市民1人当りの経費(円)	37	69	市民1人当りの経費(円)	79		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	1. 廃止・休止による影響はない
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入
		△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済
		○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
	協働実施済の場合のパートナー	日本遺産いざ鎌倉協議会（鎌倉市観光協会、鎌倉商工会議所、鎌倉風致保存会）

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類 見直しの内容	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	平成30年度までは文化庁からの補助金によって事業を実施してきた（補助率100%）が、補助期間が終了したため、事業内容を見直すとともに、財源確保に努める必要がある。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒			

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	文化庁からの補助金に代わる、活動資金として市負担金の増額を行った。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評 (評価に対する考え方、根拠等)	国からの補助金が平成30年度で終了したが、日本遺産事業に取り組むことで、鎌倉の魅力発信に寄与することが見込まれ、本市がめざす歴史的遺産と共生するまちづくりに繋がることから、協議会自立のための課題整理を行い、事業継続のための検討を進める必要がある。
-----------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	関連部局、関連施設との連携を図りながら、継続的な情報発信等を行い、「歴史的遺産と共生するまちづくり」についての意識高揚を図っていく必要がある。また、国の補助金が認定後3年間で終了するため、協議会の自立化を促す必要がある。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産いざ鎌倉協議会において、鎌倉の日本遺産のストーリーを紹介するコンテンツを視聴できる情報紹介コーナーを鶴岡八幡宮境内休憩所に設置した。 日本遺産いざ鎌倉協議会において、外国人向けツアー等の造成を目的としたモニターツアーを実施した。 日本遺産サミットに参加し、鎌倉の歴史・文化の魅力について情報発信を行った。 協議会の財政的な自立に向けて、ブックレットの改訂・増刷、有償頒布についての検討を重ねた。 市民への普及啓発のために、平成28年度に作成したブックレットの配付やツイッターによる情報発信を行った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の財政的な自立化について具体的な検討をする必要がある。 ブックレットの有償頒布について、方法・販路等の具体的な検討をする必要がある。

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	○				○	○				

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	横浜市	川崎市	伊勢原市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	秦野市	
他市実績			○							

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	南足柄市	箱根町								
他市実績		○								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内認定自治体と連携し、啓発を共に進める可能性について検討する必要がある。
----------------------	---------------------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	観光客の満足度	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。また、日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	79.2	79.5	76.6	78.9		
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	92.8%		

指標の内容	市民意識調査「鎌倉に住み続けたいかどうか」(市民の市への愛着度)の回答率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業の実施により、市民が本市に住み続けたいと感じてもらったため。また、日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	84.7	83.1	86.5	86.8	87.1	
	達成率	84.7%	83.1%	86.5%	86.8%	87.1%	

指標の内容	歴史まちづくり推進担当ツイッターフォロワー数	単位		指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
市民への普及啓発、情報発信の浸透状況を把握するため。	目標値	-	-	-	125	375	625
	実績値	-	-	-	122	783	
	達成率	-	-	-	97.6%	208.8%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	日本遺産事業を実施することで、歴史的遺産と共生するまちづくりの推進をはじめ、鎌倉の魅力発信に寄与することが期待されるため、今後も市民や観光客に対して、種々の取組を行い、満足度及び愛着度の向上に努めていく。
-----------------------	--